



子宮頸がん・乳がん検診

ご案内

婦人科検診を受けたいけれど、どうしたらいいのかわからない。
子宮頸がん検診だけで十分なの？ 卵巣がん検診はしなくていいの？

子宮頸がんや乳がんは、早期発見・早期治療がとても重要です。当院は神戸市・三田市・西宮市の子宮頸がんおよび乳がん検診の指定医療機関として、各自治体の制度に基づいた検診を実施しています。これらの検診は、おおむね2年に1回、年齢などの条件に応じて対象となります。対象となった際はぜひこの機会に検診を受け、ご自身の健康を見直すきっかけにしてください。
なお、子宮体がんや卵巣がんについては、自治体による定期検診は実施されていません。なんらかの症状がある場合や、年齢・家族歴などで不安を感じる方は、早めにかかりつけ医や当院婦人科外来にご相談ください。

子宮頸がん検診

神戸市	■対象者 2025年度に20歳以上の偶数歳の誕生日を迎える女性 ■検査費用 1,700円(税込)
三田市	■対象者 20歳以上の女性 ■検査費用 1,500円(税込)
西宮市	■対象者 ・20歳以上で、2025年度末(3月31日)時点で偶数年齢になる女性 ・平成16年(2004年)4月2日～平成17年(2005年)4月1日生まれの女性(無料クーポン券事業対象者) ■検査費用 1,400円(税込)

受付時間	・月曜日、水曜日、木曜日 8:30～11:30 ・火曜日、金曜日 8:30～10:30 ※予約は不要です。受付時間内にお越しください ※9月1日から月曜日と水曜日の午後は予約制での検診を行っています
受付場所	初診受付
持ち物	・マイナンバーカード(健康保険証)等住所、氏名、生年月日が確認できる本人確認書類 ・利用券等 ※お持ちの方のみ(無料クーポン券、40歳総合健診受診券など)
検査内容	・問診 ・視診(内診) ・細胞診

乳がん検診

神戸市	■対象者 2025年度に40歳以上の偶数歳の誕生日を迎える女性 ■検査費用 40歳代 :2,000円(税込) 50歳以上:1,500円(税込) 70歳以上:無料
三田市	■対象者 40歳以上で、前年度にマンモグラフィー未受診の女性 ■検査費用 40歳代 :2,000円(税込) 50歳以上:1,500円(税込) 75歳以上:無料
西宮市	■対象者 ・40歳以上で、2025年度末(3月31日)時点で偶数年齢になる女性 ・昭和59年(1984年)4月2日～昭和60年(1985年)4月1日生まれの女性(無料クーポン券事業対象者) ■検査費用 1,800円(税込) 70歳以上:無料

受付時間	月曜日～金曜日 8:30～16:00 ※予約は不要です。受付時間内にお越しください
受付場所	初診受付
持ち物	・マイナンバーカード(健康保険証)等住所、氏名、生年月日が確認できる本人確認書類 ・利用券等 ※お持ちの方のみ(無料クーポン券、40歳総合健診受診券など)
検査内容	・問診 ・マンモグラフィー ※女性技師が対応します



日曜日に乳がん検診を受けられる啓発イベント

マンモグラフィーサンデー 実施
2025年10月19日(日) 9:00～12:00



済生会兵庫県病院 広報誌 | NADESHIKO

なでしこ

2025
9
SEPTEMBER
Vol.83



社会福祉法人 恩賜財団 済生会兵庫県病院

〒651-1302 兵庫県神戸市北区藤原台中町5丁目1番1号 TEL. 078-987-2222(代表)



<https://saiseikai.info>

診療受付時間 8:30～11:30

休 診 日 土・日・祝・年末年始

●発行所／済生会兵庫県病院

●編集長／武田 雅和

●編集／広報委員会



済生会兵庫県病院 広報誌 | NADESHIKO

なでしこ

2025
9
SEPTEMBER
Vol.83
2025年9月発行

TOPICS

婦人科疾患 特集

子宮頸がん・乳がん検診 ご案内



社会福祉法人 恩賜財団 済生会兵庫県病院

婦人科疾患特集

女性の身体は、月経開始から妊娠・出産、閉経後に至るまで、年齢やライフステージに応じ、ホルモンバランスや身体の状態が大きく変化します。そのため、婦人科疾患は月経がある方も、すでに閉経を迎えた方も関係なく、どなたにでも起こります。

体調の小さな変化を感じても、日々の忙しさや、受診の煩わしさなどから、「これくらいなら大丈夫」と我慢してしまう方も多いのではないのでしょうか。しかし、初期の段階であれば簡単な検査や治療で大きな病気を未然に防ぐことが可能です。また、自覚症状がなく、気づかないまま進行してしまうケースも少なくありません。だからこそ、定期的な検診や適切なケアを受けることで、早期発見・早期治療につなげ、健康を維持することが大切です。

今回ご紹介する症例以外にも女性特有の疾患は多数存在します。婦人科は受診する数居の高い科ではありますが、身体の声に耳を傾け、適切なタイミングで専門の医療機関を受診するように心がけましょう。



月経の異常を感じたら…

月経の異常を感じたら…生理の出血が多くなってきた。生理が1週間たっても終わらなくてだらだら続くことがある。生理痛がつらくて、痛み止めを飲んでも効かなくなってきた。生理じゃないのに不正出血する。
→こんな症状を感じたら、子宮筋腫・子宮内膜症・子宮がんなどの病気になっているかもしれませんので、婦人科診察を受けましょう。婦人科診察は受けにくいかもしれませんが、それぞれの方に配慮した方法でおこないます。

代表的な疾患

卵巣のう腫

卵巣のう腫は卵巣にできる袋状の腫瘍で、液体や脂肪がたまる病気です。ほとんどが良性ですが、まれに悪性の場合があります。20～30歳代に多く、症状がないことが多いため、定期的な婦人科検診で発見されたり、内科の腹部エコーなどで偶然見つかったりすること。小さなものは経過観察でよいですが、大きくなって腹部膨満感や頻尿などの症状が現れたり、茎捻転を起こしたりした場合は手術をおこないます。茎捻転とはのう腫がねじれることで、急に激しい腹痛が起こり、緊急手術が必要となります。

子宮筋腫

子宮の筋層に発生する良性の腫瘍です。主な症状には、月経痛、過多月経、不妊などがあります。子宮筋腫は悪性化することはほとんどありませんが、急に大きくなることもあり、ときには数キロまで成長することもあるため、定期的な検診が推奨されます。治療法には、薬物療法や手術療法があり、腫瘍の大きさや症状に応じて選択します。

知っていますか こんな病気？

骨盤内の子宮や膀胱、直腸が膣より脱出する病気で、陰部の違和感、頻尿、残尿感などが主な症状です。進行すると慢性的な尿路感染や尿閉、腎盂腎炎を発症することがあり、当院では根治手術をお勧めしています。高齢の方に多い疾患で、病識のない患者さんも多く、外陰部にできものができたと勘違いしたり、膀胱炎と間違えたりすることもあります。お友達に「私、盲腸の手術をしたの」と話することはできたとしても、「私、子宮が出てきたの」と話すことはまれで、認知度の低い疾患です。



薬物療法

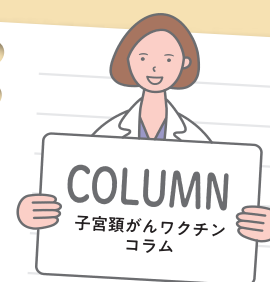
子宮筋腫や子宮内膜症に対する薬物療法には、女性ホルモンに関連するたくさんの治療方法があります。効果の高いもの、副作用の少ないもの、長期間投与できるもの、また、これから妊娠を希望している方や、手術を避けたい方、さらには年齢や症状によってさまざまな選択肢があります。当院ではそれらを詳しく説明し、患者さんの希望も尊重しながら、それぞれの患者さんに最適なオーダーメイドの治療を提供します。

手術療法

子宮筋腫や卵巣のう腫などの良性腫瘍の手術は、多くの場合で腹腔鏡手術が選択されます。5ミリから10ミリの小さな傷でおこなう低侵襲の内視鏡手術ですので、傷跡は目立たず、術後の痛みも少なく済みます。入院期間は5日から7日で、退院後は1週間程度の自宅療養を経て社会復帰ができます。当院では外来受診から1カ月前後で手術を受けることが可能です。



実際の腹腔鏡手術による術後3週間ほどの腹部の状態。数カ所、小さな傷跡が残る程度です。



子宮頸がんワクチンを受けましょう！

子宮頸がんは、ほとんどがヒトパピローマウィルスの感染によって発症します。例えばB型肝炎ウイルス感染によって発症する肝臓がんなどと同様に、ワクチンによって防ぐことができるがんです。子宮頸がんワクチンは2013年に日本で定期予防接種となりましたが、ワクチン接種後の副反応がマスコミによってセンセーショナルに報道されたことが契機となって、70%以上あったワクチン接種率は一気に1%以下に低下しました。しかし、その後の調査で、副反応は子宮頸がんワクチンを接種していない女性にも同程度に起こることが、国内外の研究で明らかとなりました。日本産婦人科学会は従来よりワクチン接種を推奨してきましたが、2022年4月から厚生労働省も「接種の積極的勧奨」を再開しました。小学校6年生相当から高校1年生相当までの方は定期予防接種ですので自己負担はありません。定期予防接種対象外の方も全額自己負担となりますが、接種を受けることは可能です。
※当院で接種を希望する方は、必ず事前にお問い合わせください。(TEL:078-987-2222)



大阪市出身で神戸大学を卒業後、主に前任の神戸市立医療センター西市民病院で、婦人科手術の経験を積んでまいりました。特に専門としている分野は腔式手術や内視鏡・ロボット手術などの低侵襲手術で、腹腔鏡技術認定医やロボット手術技術認定医などの資格を有しています。神戸市北区や三田市の患者さんが、わざわざ六甲山を越えて手術を受けに行く必要がないように、質の高い医療を提供していきたいと考えています。丁寧な説明と思いやりのある診察を心がけておりますので、婦人科でお悩みの際はお気軽にご相談ください。



産婦人科部長／周産期母子医療センター副センター長
もりしま しゅうじ

森島 秀司

●保有資格等

日本産科婦人科学会 専門医・指導医
日本産婦人科内視鏡学会 腹腔鏡技術認定医・ロボット手術技術認定医
日本内視鏡外科学会 技術認定医
日本ロボット外科学会 専門医
手術支援ロボット認定資格 (da Vinci certificate)

